



戸塚教会だより

2025 年 12 月号 No.245 発行 : カトリック戸塚教会

皆が集い安らげる教会

《2025 年度活動方針》

待降節を迎えて

主任司祭 田丸 篤

教会の典礼は、待降節から新しい 1 年が始まります。そして教会が教会にとっての 1 年の最初の主日に選んだ聖書のイエス様の言葉は「目を覚ましていなさい」という言葉です。この「目を覚ましていなさい」とは言葉を言い変えるなら、意識していなさいということです。そして大事なことは、やはり何を意識しているかということです。待降節に入った最初の主日の聖書朗読は、いわゆる救い主の誕生についてはふれていません。それより、「人の子」、すなわちイエス様が再び来られる日、この世の完成の時を待つことが語られています。イエス様は私たちに、終わりの日が必ず来ることを断言され、それがいつであるかわからないから、「目を覚ましていなさい」と言われます。そして、用意している者、常に目覚めている者と、そうでない者とが決定的に分けられると言われます。旧約聖書に出てくるノアの時代の人々は、毎日をごく当たり前のように送っていました。彼らは神様の呼びかけに対して無関心で、心に留めようとしませんでした。私たちも、毎日の生活に流されてしまって神様の呼びかけに気づきそこなっているかもしれません。目覚めて、意識して生きるとは、神様の私たちへの思い、望みが何であるかをしっかり心にとめて生活することです。そして同時に、神様の真の姿、真のよさをしっかり自分の中に焼き付けておくことです。

これからクリスマスが近づいてくる中で、私たちがやはり心に焼き付けておきたいことは、救い主で

あるイエス様の誕生がどのように私たちにとって恵みであるのかということです。そしてそのことは、人が本当に安らぎや慰めを感じるのはどんな時か思い出してみるとよくわかるかもしれません。人が本当に安らぎや慰めを感じるのは、自分が痛みや苦しみの中にあるとき、誰かが自分の側にいてくれることです。神の子であるイエス様が私たち人間と同じ姿となって生まれてくださったのは、私たちが抱える問題を解決してくださるためというよりは、私たちと一緒にいて共に苦しんでくださるためだと言えます。神の独り子が私たちと同じ人間となってくださった、私たちと苦しみを分かち合ってくださった、それが福音だということです。神様が私たちと共に歩んでくださる、一緒に労苦を共にしてくださる、そして共に喜んでくださる。神様はそのような方です。そのことを私たちが本当に知ることができるなら、私たちは本当の意味で自分の中に神様を持つことができたと言えます。自分の中に神様を持つ生き方をすること。自分の中に神様を保って、神様につながって生きること。それが目覚めて用意している生き方になります。「目を覚ましていなさい。」「あなたがたも用意していなさい。」イエス様が語られるこれらの言葉を大事に受けとめて歩みたいです。



★★ 信徒の声 ★★

スペインのある静かな町で

K.H

もう 70 年も前になりますが、中学生だった私はスペインの姉妹校の中学生、M・E・B という方と文通を始めました。このときはまさかこの関係が今日まで続くとは夢にも考えませんでしたし、彼女と会う事ができ心からの友になるとは思いもしませんでした。

それが大学を卒業すると二等船客の一人となって一ヶ月間の船旅をし、スペインに着くと学期が始まるまでの数ヶ月を彼女の家と一緒に過ごすことになりました。家族の中でのただ一人のカトリック信徒であった私には家族も周りの人々もほぼカトリックという環境の中での生活はとても興味深いことでした。

午後 2 時頃から始まる昼食は家族がそろそろ大事な機会だったような気がします。何しろ兄弟姉妹は 11 人、長女夫婦やお兄さん姉さんの婚約者たちが加わることもあり、皆の名前を覚える大変さに加え、どこからどんな質問がいつ飛んで来るかも判らず大変でした。

そしてシエスタタイムが終わる頃、家に居る家族はお母様の書斎に集まりロザリオの祈りをするのが習慣となっていました。ロザリオの後に「病床にいる〇〇さんの為に」「亡くなられた XX おじさんのために」・・・とマリア様の連祷が続きました。そしてある日、「H が先唱を。日本語でも良いでしょう」と突然の指名。もうびっくりしました。こうして日本語 + スペイン語のロザリオの祈りが時々行われる

ようになりました。

次にクリスマス休暇で戻ってくると、私も M の仲良しグループと一緒に、貧しい方たちの住む地区(バリオ)にクリスマス頃に生まれる赤ちゃんへのプレゼントの準備をすることになりました。簡易ベビーベッドが(細長く編まれたわら駕籠のようで両脇に持ち手がありました)すでに求められていました。小さな敷き布団、おくるみ、赤ちゃんが必要とする下着や服、小さなおもちゃ、おメダイ、かわいい手編みのソックス等を作りこの小さなベッドをいっぱいにしました。この時知ったのですが、この頃スペインでは男性に兵役があるように、女性たちには決まった期間の何かの奉仕活動があり、そこで彼女は看護助手の資格を取っていましたので、バリオの診療所での投薬や注射等を医師の指示で手伝っていました。

スペインのカトリック家庭のクリスマスはどんなかと興味を持っていましたが、イブもクリスマスの日もミサに出て、後は特別な事もなく静かなときを過ごしました。

準備したベビーベッドはご公現の日に無事届けられたとのことでした。そしてこの日、街の通りで活躍する交通整理のお巡りさんの立つ台の周りには沢山のプレゼントが積まれていました。これらは病院や施設にいる子供たちに届けられるそうでした。

待降節を迎える頃になり、半世紀前に友達の家族と過ごした穏やかなクリスマスを思い出しました。



「ラウダート・シ」ゴールズ - LSGs

(毎月、7項目の LSGs を1項目ずつ掲載します。)

3. エコロジカルな経済へ

経済を、わたしたちがともに暮らす家、一生命圏に包摂される人間社会を構成する、システムの一つとして捉える理解です。

具体的な実践としては、持続可能な生産と消費、倫理的な投資、化石燃料や地球と人間とに有害な活動からの投資資金引き上げ、循環型経済への参画、ケア労働の重視、労働者の尊厳の保護などがあります。



司教協議会「ラウダート・シ」部門 HP より引用

1) 関内支援グループ 米の寄付

支援のおにぎり用の米が不足する状況が続きます。米の寄付は、常時、受付けます。1 階集会室の関内支援グループの衣装ケースに入れて下さい。(LSGs - 2,7)

2) 福島やさい販売

10 月 26 日の販売は雨の為、地下駐車場でしたが、フリマの盛況の効果で、以下の金額をの報告が NPO 法人「福島やさい畑」からありました。

仮設店舗販売	151,640	(円)
NPOへの寄付金	480	
ファミリーホーム等支援グループ	30,000	
合計	182,120	

ともに暮らす家・地球を大切にする活動の一環として、レジ袋の使用をやめます。紙袋の用意はありますが、エコバッグの持参にご協力ください。

次回の販売は、12 月 28 日 (日) の予定です。(LSGs-7)

3) ステラマリス・毛糸の帽子サークル

11 月 27 日 (木) に末吉町教会内のステラマリスに、戸塚教会信徒が編んだ 64 枚と石巻の編み手の 386 枚、合わせて 450 枚の帽子、それに折り紙のリースを運びました。他の品物と一緒に包装され、クリスマスの時期に横浜港に停泊する外航貨物船の、主にアジア出身の船員さん達にプレゼントされます。8 年継続したカリタス石巻ベースとの協働は今年が最終年です。編み手の方々に感謝！

毎月、第 4 水曜日 13 時～15 時に 2 階の集会室で、毛糸の帽子を編んでいます。編み物経験のない方も気軽に参加して下さい。次回は 1 月 28 日です。ステラマリスは、カトリック教会が全世界で展開する船員司牧の役目の一翼を担っています。(LSGs-2,7)



フリーマーケットの様子

戸塚教会フリーマーケットが 10 月 26 日(日)に行われました。当日はあいにくの天気にもかかわらず「、多くの人が参加し盛況のうちに終了しました。



英語グループによるスープ販売



本場のギョーザ販売



たこ焼き販売



福島産材料でのおでん販売



おむすび弁当販売(聖堂内)

教会委員会からのお知らせ

教会委員会の議事録から

※委員会議事録のうち、信徒の皆さんにお伝えしておきたいことがらを抜粋しています。議事録の詳細は事務室に備えているファイルをご参照ください。なお、項番は議事録原本のものです。

【日時】2025年11月8日（土）10:00～11:50

【場所】戸塚教会2階会議室

【議事】

1. 協議事項

(1) ミサ行事日程表の確認

別紙「2025年度ミサ行事日程表 12月、1月」を参照しながら確認・追記を行った。変更があれば各部がOneDrive上で修正する。1月11日（日）は第2週で例月では掃除の日だが、二十歳のお祝いミサのため、掃除は前週1月4日（日）クリスマス飾り後片付け後に行う。

(2) 教会だより1月号の発行日について

例月は第1週の土日に発行しているが、1月第1週は3日（土）、4日（日）であるため、前週か翌週にずらす必要がある。1月号は第2週、1月10日（土）、11日（日）に発行する。

(3) 大掃除について（管財）

11月15日（土）、16日（日）の大掃除の要項について要確認（添付資料）。教会委員会後に掃除箇所を回り、委員各自の担当箇所を確認した。当日の飲料、軽食（パン）は行事親睦部が用意する。

(4) 1月の教会委員会の時間変更について（典礼）

1月10日（土）13:00より結婚式（12:00からリハーサル）のため、時間の繰り上げまたは日程変更が必要。1月18日（日）ミサ後に日程変更する（田丸神父了承）。

(5) 「2025活動報告」及び「2026活動方針、活動計画」記入のお願い（総務）

各部の「2025活動報告」及び「2026活動方針、活動計画」記入用ファイルをOneDrive「2026信徒大会」フォルダに設けたので、各部で検討の上、年度を含めて書き換えること。締切は12月11日（木）18:00。

(6) 12月20日（土）、21日（日）ミサ後「ルカ福音書の受胎告知を味わい祈る会（仮称）」開催について（教学）

12月20日（土）、21日（日）ミサ後に「練成会」という形は取らず、毎月第3週の「しゃべり場」を拡大する形で、待降節にふさわしく「ルカ福音書の受胎告知を味わい祈る会（仮称）」を開催する。ルカ福音書の受胎告知箇所の朗読と受胎告知の名画を鑑賞し、沈黙のうちに祈り、近くの人と分かち合う。時間は25分程度。大型モニターに名画を投影するため協力を求める。

2. 報告事項

(2) 教会委員長

2026年度方針は今年度方針「皆が集い安らげる教会」を踏襲する。毎月第1週の「レクリエーションの日」をさらに活性化させるため、聖堂ホールの椅子を片付けた場所に折り畳み机を置き、オセロなどのゲームができるようにする案が出た。1時間程度でできるゲーム等を用意する必要がある。「横浜教区ステラマリス」は活動の一環として、横浜港に寄港する船員にクリスマスプレゼントとして毛糸の帽子を編んで渡している。帽子に同包する「折り紙リース」を作るワークショップを開催する案については福祉部で検討する。出来上がったリースは自宅に持ち帰ってもよい。毎月の活動計画を立ててミサ行事日程表に記し、信徒に周知することを検討する。

(3) 財務部

10月18・19日に行った「世界宣教の日」献金は73,000円で、横浜司教区へ振込済。10月27日に第3回分担金1,078,500円が銀行口座より引き落とし済。セブ島地震の募金について、11月1・2日の募金合計額は113,000円。11月8・9日にも募金活動を行う。集まった募金はカリタスジャパン横浜教区支部を通してセブ島へ寄付する。

追記：セブ島地震支援の募金は合計172,000円でした。カリタスジャパン横浜教区支部へ振り込み済。たくさんのご協力をありがとうございました。

12月6・7日は宣教地召命促進の日の献金を行う。

(4) 総務部 特になし

(5) 管財部

屋上の防水工事について教区建設委員会の承認が得られたため、今月業者に手配する。見積り金額は9,650,000円。工事日程が決まり次第連絡する。外灯のLED電灯化工事を11月4日～10日で実施中。金額は890,000円。工事完了まで工事車両や資材が敷地内に入るので注意すること。業者によるガラス清掃と床ワックス清掃は11月12日（水）に実施予定。金額は198,000円。11月15・16日予定の大掃除では、ガラス清掃、床清掃は不要。祭壇に掲げるイエス磔刑像を磨き直すことも検討する。

(6) 典礼部

スケジュール

- 11月23日（日）10:30～ ミサ後 クリスマス飾り付け（13:00からの英語ミサに影響しないよう対応）
- 12月24日（水）19:00～ クリスマス夜半ミサ（原宿教会16:30～）
- 12月25日（木）10:30～ クリスマス日中ミサ（原宿教会8:45～）
- 1月1日（木）11:00～ 新年ミサ（原宿教会9:00～）

- 1月2日（金）ミサ無し
- 1月3日（土）16:00～
- 1月4日（日）10:30～ ミサ後 クリスマス飾り片付け
- 1月10日（土）13:00～ 結婚式
- 1月11日（日）11:00～ 二十歳のお祝いミサ（対象者4名、11月中に案内送付、12月中に回答）

(7)教学部

12月6日（土）14:00～16:00「とつか合同クリスマス会」について、カトリック戸塚教会はページェントで「東の国の博士」を担当する。多くの来場を呼びかける。教会学校より、マリアの宣教者フランシスコ修道会のシスターU から連絡があり、最近戸塚修道院に来た若いミャンマー人のシスターが教会学校に来る予定。子どもたちと交流を予定している（日程未定、2年間日本語学校で学んだ）。年末は12月14日（日）まで、年始は1月11日（日）開始。初聖体に向けた勉強は男子1名、女子1名（現時点）を対象に1月より開始予定。

(8)福音宣教部 特になし

(9)広報部 特になし

(10)福祉部

「福島やさい畑」販売（フリーマーケット当日）は同時開催ということもあり、182,120円（ファミリーホーム等支援、寄付金を含む）の売り上げがあった。来年度「聴く会」を5月31日（日）に開催予定。了承された。「ファミリーホーム支援等グループ」のメンバーを対象にニュースレターを年3回発行することとなり、配布時に聖堂のレターボックスを使うことを了承。2025年度「愛の献金予定」については別紙のとおり。

(11)行事親睦部

10月26日（日）フリーマーケット開催。福祉団体を除く11団体の収益は158,698円で、これを福祉施設に分配することを部会で協議。11月23日（日）ミサ後にクリスマスの飾りつけを行うため、教会委員にも協力を求める。

子供たちのために使われます。戸塚教会では1月24日、25日で献金を行います。皆様のお祈りとご協力をよろしくお願いいたします。

【次回 委員会の日程】2025年12月13日(土)10時～

教会委員会からのお願い

〈世界こども助け合いの日（献金）・財務部〉

「世界こども助け合いの日」を呼び掛ける教皇庁児童宣教事業は、幼子イエスの保護にゆだねたいとの希望から、聖なる幼子の会または幼子宣教会とも呼ばれます。その目的は、「子どもたちを助けている子どもたち」をモットーに献身する、キリスト者の子どもたちの運動を促進し、生み出すことです。児童宣教事業の活動の頂点であるこの日、彼らは自分たちだけでなく世界の子どもの幸せを願って祈り、犠牲をささげ、支援を行います。日本では、各教会等に加え、カトリック系の幼稚園や保育園の大勢の子どもたちが献金に手紙や絵を添えて協力しています。当日の献金は全世界からローマ教皇庁・福音宣教省に集められ、世界各地の恵まれない